
PERFORCE 2009.2
P4V 入門

2009 年 12 月

This manual copyright 2005–2009 PERFORCE Software.

All rights reserved.

PERFORCE software and documentation is available from <http://www.perforce.com>. You may download and use PERFORCE programs, but you may not sell or redistribute them. You may download, print, copy, edit, and redistribute the documentation, but you may not sell it, or sell any documentation derived from it. You may not modify or attempt to reverse engineer the programs.

PERFORCE programs and documents are available from our Web site as is. No warranty or support is provided. Warranties and support, along with higher capacity servers, are sold by PERFORCE Software.

PERFORCE Software assumes no responsibility or liability for any errors or inaccuracies that may appear in this book.

By downloading and using our programs and documents you agree to these terms.

PERFORCE and *Inter-File Branching* are trademarks of PERFORCE Software. PERFORCE software includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

All other brands or product names are trademarks or registered trademarks of their respective companies or organizations.

This manual © copyright 2005–2009 PERFORCE Software.

All rights reserved.

PERFORCE のソフトウェアおよび関連文書は <http://www.perforce.com> より入手できます。プログラムは、ダウンロードしてご利用になれますが、販売または再配布することは禁じます。関連文書は、ダウンロード、印刷、コピー、編集、再配布することを認めますが、販売することは禁じます。また、いかなるものであれ、本書を元にして作成した文書を販売することも禁じます。プログラムについては、変更を加えること、またリバースエンジニアリングを試みることも禁じます。

当社 Web サイトより入手した PERFORCE プログラムおよび関連文書は無条件受け取りとなります。保証もサポートもいたしません。保証、サポートは、より高機能のサーバとともに、PERFORCE Software より有償で提供いたします。

PERFORCE Software は、本書中の誤りまたは不正確な記述について、いっさい責任も負担も負いません。当社のプログラムおよび関連文書をダウンロードして使用すると、以上の条件に同意なされたことになります。

PERFORCE、*Inter-File Branching* は、PERFORCE Software の商標です。PERFORCE のソフトウェアには、カリフォルニア大学バークレイ校およびその協力者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

その他のブランドまたは製品名は、それぞれ当該各社または団体の商標または登録商標です。

目 次

基本コンセプト	5
サーバに接続する	6
P4V メイン画面	8
ワークスペースの設定	9
ファイルの管理	11
ディポからファイルを取得する	11
ディポからファイルをチェックアウトする	11
ワークスペースでファイルを編集する	12
変更内容を差分表示する	13
変更を破棄して元に戻す	13
変更をディポにチェックインする	14
ファイルのリビジョン履歴を表示する	15
グラフィカルなレポートツール	15
ファイルのリビジョンを図に表す	16
ファイルのリビジョンをタイムラップ・ビューで見る	17
フォルダの履歴をフォルダ差分ツールで表示する	17
重要かつ有用な機能	18
ツールチップ	18
ドラッグ & ドロップ	19
ファイル・ビュー	19
タブの分割	20
プリファレンスの設定	20
P4Win からの移行	20
基本をマスターしたら	23

P4V 入門

P4V (PERFORCE Visual クライアント) は、異なるプラットフォーム間で機能する PERFORCE の GUI ツールです。P4V は、Windows および Linux のコンピュータ上で使用でき、各プラットフォームで全く同等にインタフェースを行うことができます。この入門編ガイドでは PERFORCE の基本機能および P4V のレイアウトや機能について説明しています。P4V について詳しくは、オンライン・ヘルプ・システムを参照してください。PERFORCE に関する詳細な情報は Web サイトにあるユーザ・ドキュメントを参照してください。

注 | 日本語版 P4V がサポートするのは、次のプラットフォーム (32 ビット) です。64 ビットのプラットフォームは未サポートですので、ご注意ください。

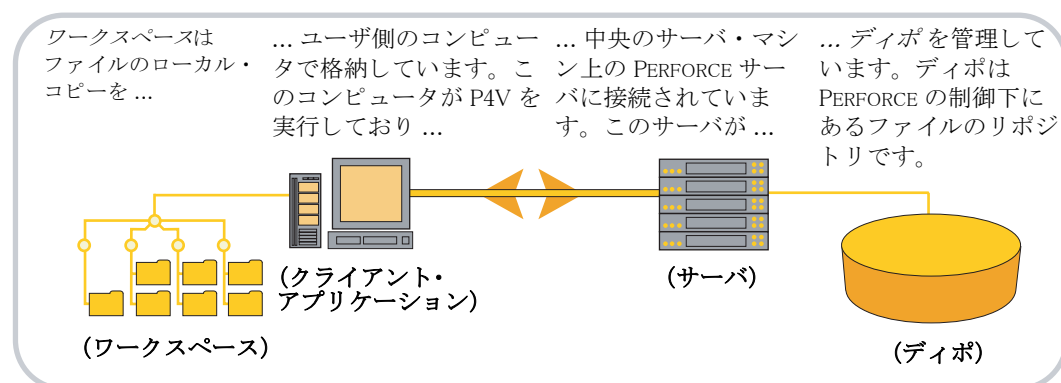
* Windows 2000 SP3 以上 / XP SP2 以上 / Vista / Server 2003

* RedHat Enterprise Linux 4 (x86)

ファイル管理に PERFORCE を使用する際は、通常 P4V などのクライアント・プログラムを使用して PERFORCE サーバに接続します。P4V を使用するとファイルのチェックインおよびチェックアウト、その他必要なタスクを行うことができます。次のセクションでは、基本タスクを行う方法および強力な機能やショートカットを説明します。

基本コンセプト

P4V はユーザのコンピュータを PERFORCE サーバに接続して、PERFORCE のディポとユーザ側のワークスペースとの間でファイルをやりとりします。次の図を参照してください。



PERFORCE 関連用語の正確な定義は次のとおりです。

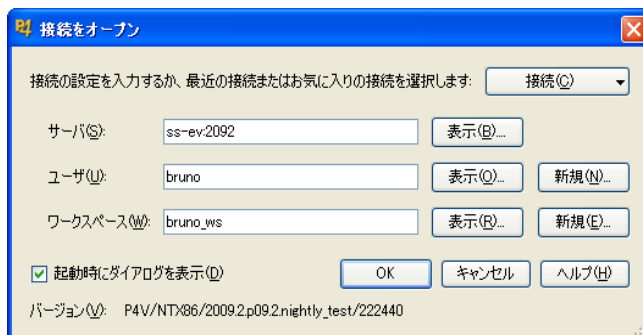
- ・ ワークスペース : PERFORCE によって管理されているファイルのリビジョンに対して作業を実際に行う、クライアント・コンピュータ上のフォルダまたはディレクトリ。

- ・ クライアント・アプリケーション：P4V（またはその他の PERFORCE クライアント・アプリケーション）であり、ユーザのコンピュータ上で稼動し、PERFORCE サーバにコマンドを送信して結果（ファイル、状態の情報など）を取得します。
- ・ サーバ：クライアント・プログラムから送信されたコマンドを実行し、ディポ・ファイルをメンテナンスし、ワークスペースの状態を追跡するプログラム。PERFORCE サーバは通常、ネットワーク経由でクライアント・マシンに接続している中央のマシンで稼動します。
- ・ ディポ：PERFORCE サーバ上のファイル・リポジトリ。それまでにサーバへサブミットされた全ファイルの既存バージョンがすべて含まれています。1つのサーバに複数のディポが存在することもあります。このガイドの例では、ディポが1つの場合を想定しています。

サーバに接続する

ディポへアクセスするには、サーバに接続する必要があります。サーバへの接続は以下のように行います。

1. P4V を起動します。すると以下のような接続ダイアログが表示されます。



2. 以下の設定を行います。（設定する情報は PERFORCE 管理者に問い合わせてください）

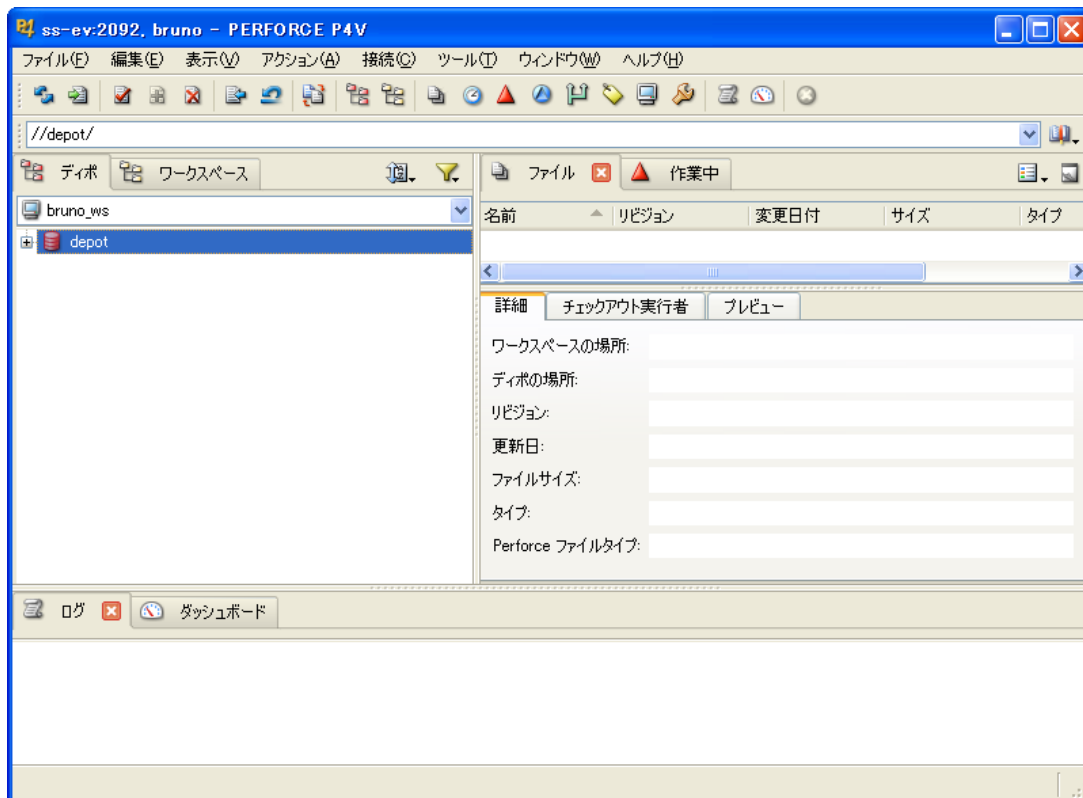
- ・ サーバ：PERFORCE サーバが稼動しているコンピュータ名
- ・ ポート：サーバに割り当てられているポート番号
- ・ ユーザ：PERFORCE ユーザのユーザ名
- ・ パスワード：PERFORCE ユーザのパスワード（任意）
- ・ ワークスペース：クライアント・ワークスペース名

登録済みのユーザおよびワークスペースを表示するには、**[表示 ...]** をクリックします。（サーバおよびポートは **表示** をクリックする前に設定しておく必要があります）

サーバ設定が正しくない場合、P4V は次のようなメッセージを表示します。

```
Connect to server failed; check $P4PORT.
TCP connect to bigserver failed.
bigserver: host unknown.
```

3. 接続するには OK をクリックします。P4V のメイン画面が以下のように表示されます。

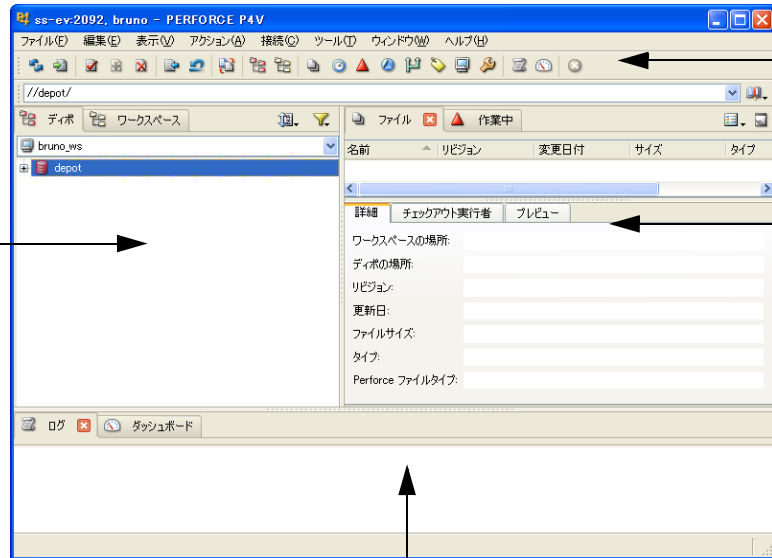


次のセクションではメイン画面パネルについて説明します。

P4V メイン画面

次の図は、メイン画面のパネルおよび主要な機能を示しています。ボタンや画面の要素の機能を表示するには、カーソルをその上に置きます。すると、簡単な機能説明（ツール・チップ）が表示されます。

左のパネルには
ディポとワークス
スペースのファイル
およびフォルダが
表示されます



ツールバーで
パネルを切り
替えます

右のパネルには
選択されたオブ
ジェクトに関す
る詳細情報が表
示されます

ログ・パネルにはサーバ・コマンドがリストされ、
ダッシュボードにはステータスとタスクの
ショートカットが表示されます

ワークスペースの設定

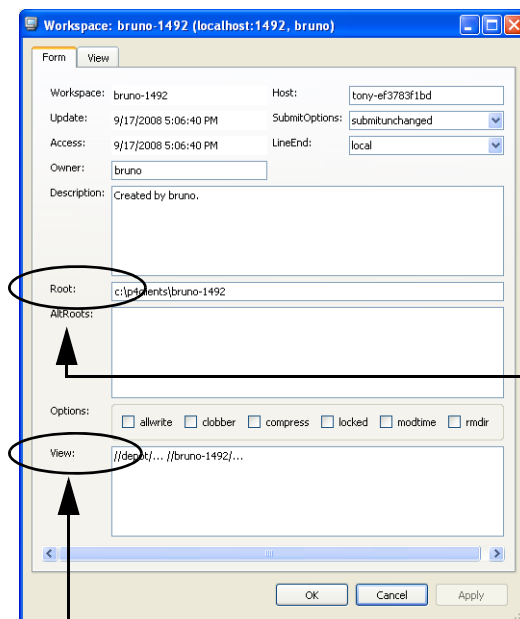
この作業は PERFORCE 管理者が行うのが一般的ですが、ワークスペースの設定についていくつか重要な項目を知っておくことが望ましいでしょう。

特に、(1) クライアント・ルート・ディレクトリの設定および (2) クライアント・ビューの設定は重要です。

ワークスペースを定義するには、[接続]>[新しいワークスペース ...] を選択します。

クライアント・ワークスペース仕様を編集するには、[接続]>[現在のワークスペースを編集 ...] を選択します。

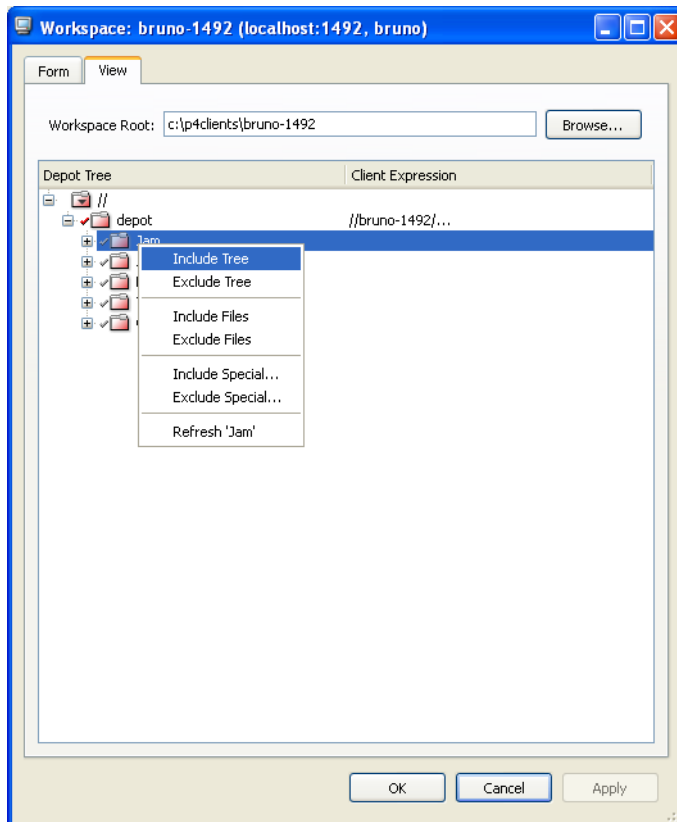
P4V では仕様の詳細画面が、右パネルの下の部分に表示されます。以下に例を示します。



View : ユーザがアクセスするディポ・ファイルを制限します。必要なディポ・ファイルのみが表示されるようにビューを設定してください。

Root : ユーザのコンピュータ上で PERFORCE がディポのコピーを保存する場所を指定します。正しい名前を指定し、コンピュータのルート・ディレクトリを設定しないように注意してください。

クライアント・ビューの表示または設定をグラフィック画面で行うには、**[表示]**タブをクリックします。目的のファイルまたはフォルダを探し、右クリックで表示されるメニューをクリック（コンテキスト・クリック）して、クライアント・ビューへの追加やクライアント・ビューからの除外を行います。画面は次のように表示されます。



ファイルの管理

PERFORCE を使用してファイルを管理するには、通常次の順で作業を行います。

1. ディポからファイルを取得します。
2. 編集対象のファイルをチェックアウトします。
3. ファイルを編集します。
4. 変更済ファイルをチェックインします。

次のセクションではファイル管理上よく行われる、上述した作業やその他の作業について詳しく説明します。


ディポからファイルを取得する

ディポからワークスペースにファイルをコピーする手順を以下に示します。

1. 左パネルにある **ディポ** タブをクリックします。
2. 取得したいフォルダまたはファイルを探します。
3. ファイルまたはフォルダをコンテキスト・クリックします。最新バージョンを取得するには、[**最新リビジョンを取得**] を選択します。古いバージョンを取得するには、[**リビジョンを取得 ...**] を選択してから目的のバージョンを指定します。

ログ・パネルに以下のようなメッセージが表示されます。.

```
p4 sync //depot/Misc/manuals/...#head
//depot/Misc/manuals/recommended_configuration.doc added c:\p4cli
ents\bruno-1492\Misc>manuals\recommended_configuration.doc
//depot/Misc/manuals/triggers.doc added c:\p4clients\bruno-
1492\Misc>manuals\triggers.doc
//depot/Misc/manuals/vendor_branches.doc added c:\p4clients\bruno
-1492\Misc>manuals\vendor_branches.doc
Sync copied 3 files to workspace (including 3 that were added)
Sync removed no files from workspace
Sync completed with no warnings or errors.
```

ファイルは左パネル上に、ワークスペース内にあることを示す緑色の丸が付いて表示されます。 これでファイルがワークスペース内にコピーされました。このファイルを編集したい場合は、はじめにファイルをチェックアウトします。


ディポからファイルをチェックアウトする


ユーザのワークスペースにファイルをチェックアウトする手順を以下に示します。

1. 左パネルの **ディポ** タブから目的のファイルを探します。
2. ファイルをコンテキスト・クリックし、[**チェックアウト**] を選択します。

ログ・パネルに以下のようなメッセージが表示されます。

```
p4 edit //bruno-1492/Misc/manuals/recommended_configuration.doc
//depot/Misc/manuals/recommended_configuration.doc#1 - opened for
edit
Opened 1 files for edit
```

ファイルは左パネル上に、チェックアウトされたことを示す赤いチェックマークが付いて表示されます。

ファイルをチェックアウトすると、PERFORCE はそのファイルをチェンジリストに追加します。チェンジリストは、関連するファイルのリストです。チェンジリストを使って関連するファイルをグループ化することができます。例えば、製品の機能追加を行うために必要な変更を含むすべてのファイルをグループ化できます。チェンジリストを表示するには、メニューから **[表示]>[作業中チェンジリスト]** を選択するか、ツールバーにある  をクリックします。

これでファイルを編集する準備ができました。

ワークスペースでファイルを編集する

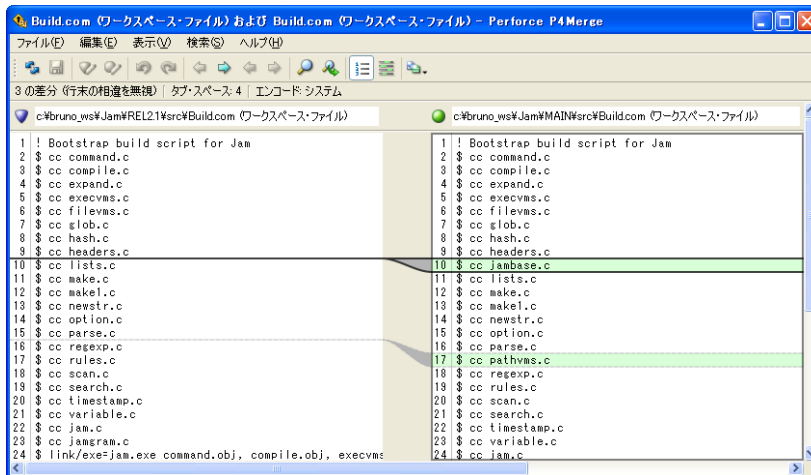
チェックアウトしたファイルを編集するには、そのファイルをダブルクリックします。（またはコンテキスト・クリックして **[他のアプリケーションで開く ...]** を選択後、目的のアプリケーションを選択します。）P4V がファイルに関連付けられている編集用アプリケーションを起動します。ファイルを変更し、保存します。

ファイルを開くアプリケーションを選択するには、**[ファイル]>[他のアプリケーションで開く ...]>[アプリケーションを選択 ...]** を選択します。ファイルタイプ別に異なるエディタを指定するには、**[編集]>[プリファレンス ...]** を選択し、**エディタ** タブをクリックします。

変更内容を差分表示する

行った変更を表示するために、変更済ファイルをチェックアウト時のバージョンと比較する (*diff*) ことができます。diff を行うには、左パネルにあるチェックアウトしたファイルをコンテキスト・クリックし、[所有リビジョンと比較] を選択します。

P4Diff が起動し、2 つのファイルの異なる部分が次の図のように表示されます。



変更を破棄して元に戻す


変更内容を破棄したい場合は、以下の手順に従います。

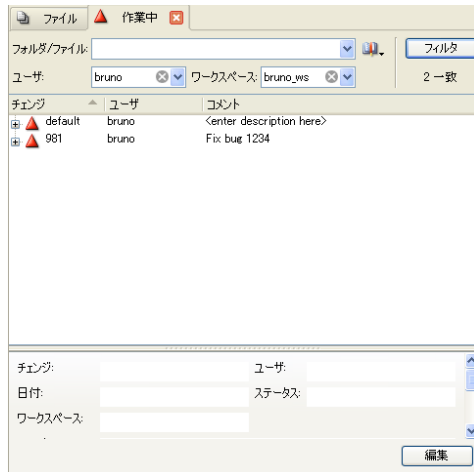
1. 左パネルにあるファイルをコンテキスト・クリックし、[元に戻す] を選択します。P4V は警告ダイアログを表示します。
2. OK をクリックします。ログ・パネルに以下のようなメッセージが表示されます。

```
p4 revert //my-test-workspace/main/bark
revert complete. 1 file affected.
```

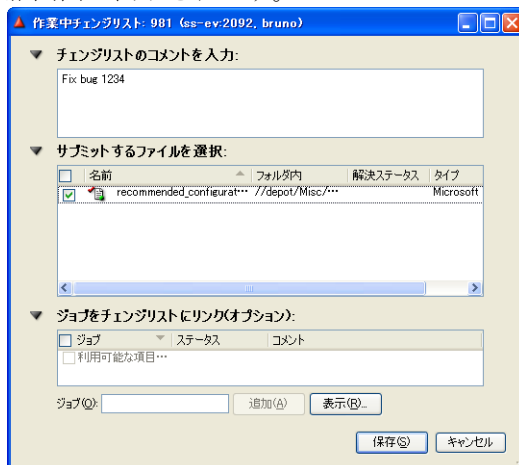
変更をディポにチェックインする

変更済ファイルをディポにチェックインするには、次の手順に従います。

1. 作業中チェンジリストを表示するため、ツールバーにある  をクリックします。次の図のように作業中チェンジリストが一覧表示されます。チェンジリスト内のファイルを表示するには、チェンジリストを展開します。



2. 作業状態のファイルがあるチェンジリストをダブルクリックします。次の図のように詳細画面が表示されます。



3. 行った変更を説明するコメントを入力し、[サブミット]をクリックします。ログ・パネルにチェンジリストがサブミットされたことを示すメッセージが以下のように表示されます。

```
Change 813 submitted.
submit complete. 1 file affected.
```

ファイルのリビジョン履歴を表示する

ファイルやフォルダに加えられた変更を表示するには、そのファイルやフォルダをコンテキスト・クリックし、[ファイル履歴] または [フォルダ履歴] を選択します。すると選択されたファイルやフォルダの履歴が右パネルに表示されます。例えば次の図はフォルダの履歴を表していますが、そのフォルダ内のファイルに関するサブミット済チェンジリストが一覧表示されています。

リビジョン	チェンジリスト	サブミット日付	サブミット実行者	ファイルタイプ	コメント
26	823	2009/06/09 16:...	bruno	unicode	日本語版トレーニングの演習用に、主要なテキストファイルの
25	619	2001/11/12 18:...	earl	text	Fix jam's handling of empty {} blocks so that it can reco...
24	602	2001/10/30 10:...	earl	text	OS/2 client port of mainline.
23	596	2001/10/24 20:...	earl	text	Jam's local variables can now be initialized.
22	550	2001/09/05 16:...	earl	text	Fix up compiler warnings from -Wall in jam.
21	549	2001/09/05 16:...	earl	text	Finally, fix the jam include bug, using the parser scheme...
20	340	2000/06/05 8:1...	earl	text	Concurrent process support for NT.
19	331	2000/05/24 3:2...	earl	text	Move jam debug levels around.
18	313	2000/05/14 4:2...	earl	text	First half of support for binding variables in actions: the
17	284	2000/04/20 7:0...	earl	text	Support for multiple :s on jam rule invocation and acces...
16	277	2000/04/02 14:...	earl	text	Support for 'local' declarations in jam.
15	272	2000/03/19 15:...	earl	text	Jam support for "if \$(A) in \$(B)".
14	265	2000/03/08 13:...	earl	text	Jam porting fixes for sun4.
13	262	2000/03/05 17:...	earl	text	Compare all elements in jam 'if' statement.
12	248	2000/02/01 18:...	earl	text	Support for turning on a single debug level with -d in jam.
11	185	1999/09/29 9:2...	earl	text	Fixed wild little Jam bug that trashed variable settings if
10	137	1999/05/03 3:0...	earl	text	Get all function declarations.
9	120	1999/03/09 17:...	earl	text	Leaves instead of gale.
8	93	1999/02/16 16:...	earl	text	Mkdir rule. NOUPDATE rule.
7	70	1999/02/03 16:...	earl	text	Galew.
6	69	1999/02/03 6:0...	earl	text	New ALWAYS rule. Changed -t.
5	63	1999/01/23 16:...	earl	text	EXIT.
4	90	1999/01/10 17:...	earl	text	Consistent info.

グラフィカルなレポートツール

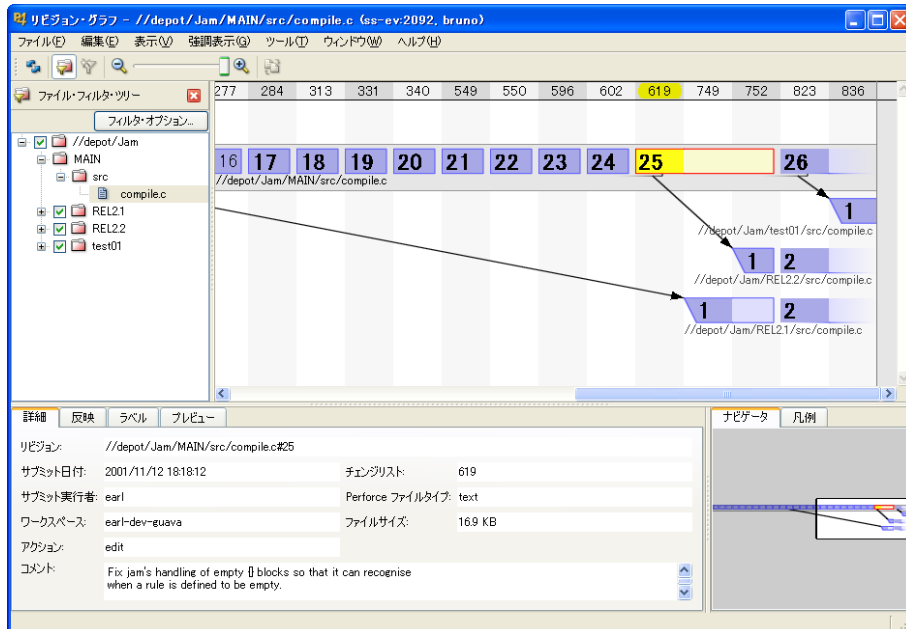
P4V には以下に示すような非常に便利なグラフィカル・レポートツールが用意されています。

- ・ リビジョン・グラフ：選択したファイルの変更箇所を示す図を表示します。ブランチ操作に関係するファイルも含まれます。
- ・ タイムラップ・ビュー：選択したテキストファイルの内容がリビジョン間でどのように変更されたかを示します。リビジョン範囲内の移動が容易にでき、調べたいテキストのある箇所を探して、それが作成された時期や変更内容を見ることができます。
- ・ フォルダ差分ツール：フォルダの内容がどう変更されたのかを見ることができます。

次のセクションではこれらのツールの詳細を記述します。

ファイルのリビジョンを図に表す

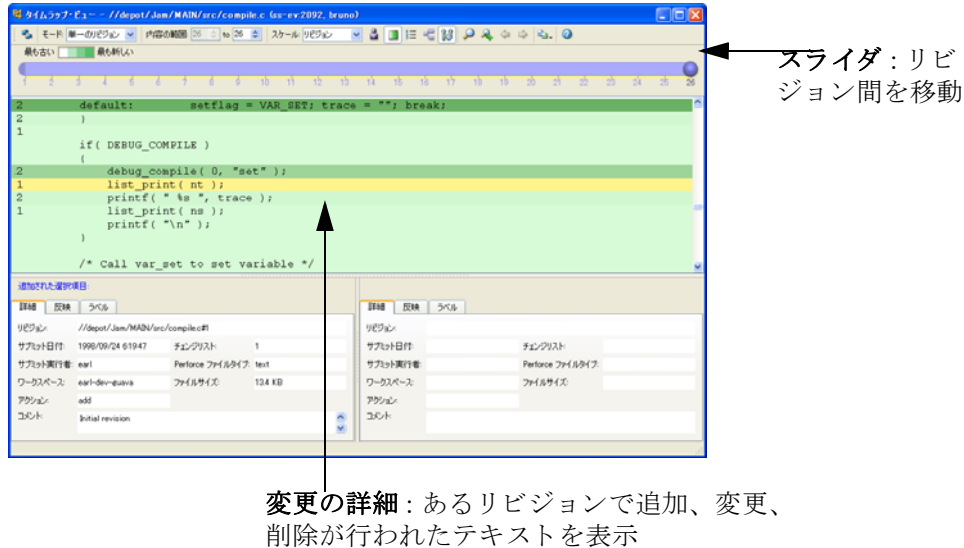
あるファイルのリビジョンを図で表示するには、左パネルでファイルをコンテキスト・クリックし、[リビジョン・グラフ]を選択します。ツールが起動し、次のような図が表示されます。



この図にはファイルがいつ作成されたか、またブランチがどのように作成されたかが確認でき、ディボにサブミット済のバージョンの詳細を見ることができます。また、ナビゲーション・マップを使用してグラフ内を移動することができます。リビジョン・グラフに表示される情報について詳しくは、P4V のオンライン・ヘルプを参照してください。

ファイルのリビジョンをタイムラップ・ビューで見る

あるテキスト・ファイルの変更内容を表示するには、左パネルでそのファイルをコンテキスト・クリックし、[タイムラップ・ビュー]を選択します。ユーティリティが起動し、次のような画面が表示されます。



タイムラップ・ビューでは、スライダを使用して、ファイルのすべてのリビジョンを移動しながら、変更時期や変更したユーザを調べることができます。タイムラップ・ビューについても、詳しくは P4V のオンライン・ヘルプを参照してください。

フォルダの履歴をフォルダ差分ツールで表示する

フォルダ差分ツールを使うとフォルダの内容がどのように変更されたか、つまりどのファイルが追加、変更、削除されたのかを表示することができます。

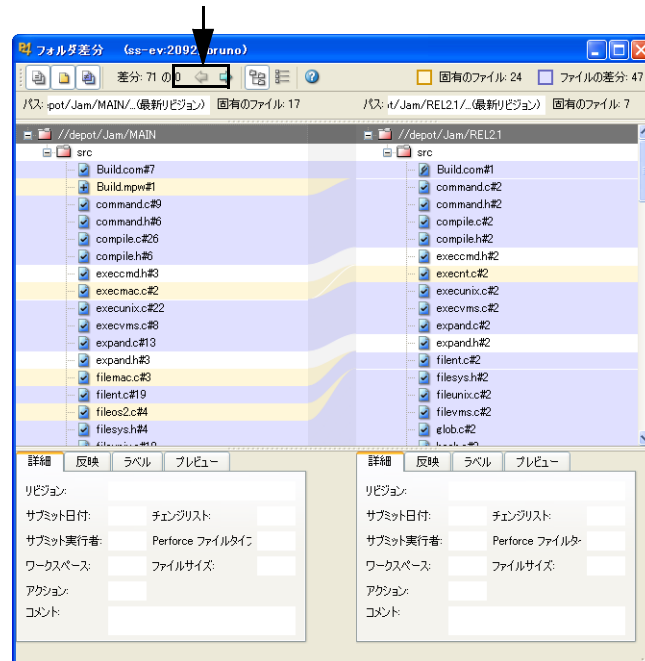
1. 左パネルの **ディポ** タブまたは **ワークスペース** タブにあるフォルダをコンテキスト・クリックし、[フォルダ履歴]を選択します。すると次の図のように、右パネルにそのフォルダに関するチェンジリストが一覧表示されます。

Revision (Char)	Date Submitted	Submitted By	コメント
709	2001/12/24 10:...	dai	Upgrade to latest metrowerks on Beos -- the Intel one.
705	2001/12/20 55:...	earl	Put in fix for jam's NT handle leak.
694	2001/12/16 40:...	gale	Fix URL in a jam doc
693	2001/11/18 41:...	earl	Radstone's lynx port.
692	2001/11/15 10:...	raj	More jam twiddling, for NT.
691	2001/11/15 95:...	earl	Linux x86 2.0 and linux asp 2.0 build 973/4596.
627	2001/11/14 90:...	earl	Handle platform variants better, by defining OSPLAT whenever we can.
625	2001/11/13 74:...	earl	More twiddlings to the jam, for final release.
624	2001/11/13 65:...	earl	Fix up html references.
623	2001/11/12 18:...	earl	Touch up references on html pages.

2. フォルダ内の 2 つのリビジョン間で行われた変更内容を表示するには、一方のリビジョンを他方のリビジョンへとドラッグ & ドロップします。

すると次に示す図のように変更内容が表示されます。この例では選択したリビジョン間で、あるファイルが編集されてチェックインが行われていることがわかります。ファイルの強調表示は、追加、変更、削除について色分けされています。フォルダを拡張してスクロールし、調べたい変更内容を見つけます。次の変更、前の変更に移動するには、それぞれ右矢印、左矢印をクリックします。

クリックして変更を表示



重要かつ有用な機能

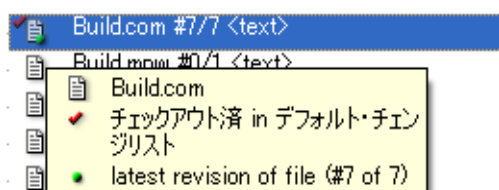
P4V には多くの機能が用意されていますが、次に示す機能は特に便利です。


- ・ ツールチップ：あるオブジェクトについて詳細を知りたいとき、カーソルをそのオブジェクトの上に置きます。すると詳細を説明するポップアップ・ウィンドウが表示されます。
- ・ ドラッグ & ドロップ：よく使われる操作には、ドラッグ & ドロップによるショートカットが多く用意されています。
- ・ ファイル・ビュー：グラフィック・ファイルをサムネールでプレビューすることができます。
- ・ ウィンドウ分割：仕様を別のウィンドウで表示したままにしたいとき、ウィンドウを切り離すことができます。

次のセクションでこれらの機能について詳しく説明します。

ツールチップ

P4V には画面上の多くのオブジェクトに対してツールチップが用意されています。例えば、ファイルの状態を表示するには、カーソルを左パネルのファイルの上に置きます。すると次の図のようにツールチップが表示されます。



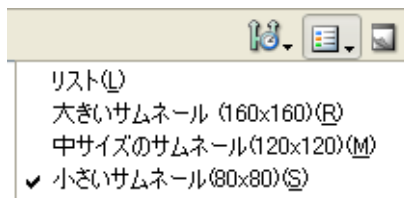
また別の例として、チェンジリストのコメントを表示するには、ツールバーの  をクリックしてカーソルを右パネルのチェンジリストの上に置きます。P4V ではすべてのボタンについてもツールチップが用意されています。

ドラッグ＆ドロップ

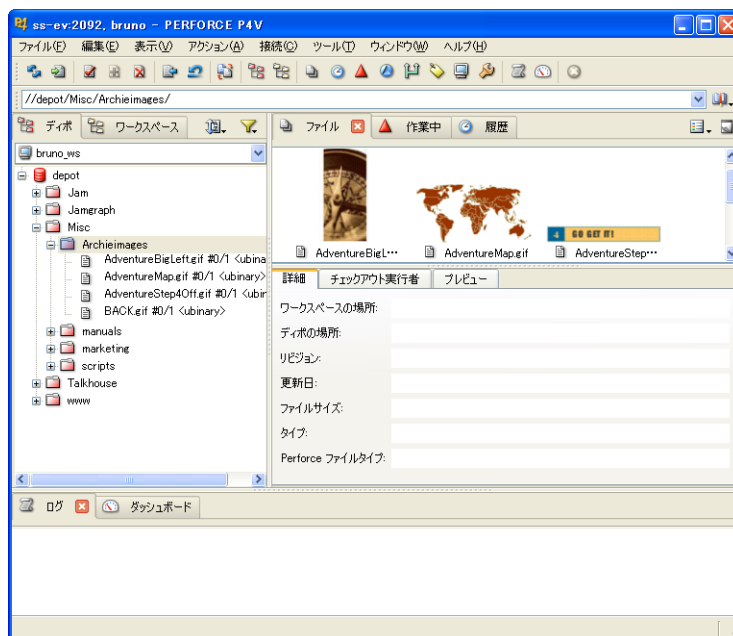
P4V では、よく行われる作業にはドラッグ＆ドロップによるショートカットが提供されています。ドラッグ＆ドロップを使うと多数のファイル・グループでの操作を容易に行うことができます。例えば、フォルダ内のすべてのファイルをチェックアウトするには、そのフォルダをチェンジリストにドラッグします。2つのファイル間の差分を見るには、一方のファイルをもう一つのファイルにドラッグします。ドラッグ＆ドロップによるショートカットに関する詳細は、P4V オンライン・ヘルプを参照してください。

ファイル・ビュー

PERFORCE をグラフィック・ファイルの管理に使用している場合には、P4V のサムネール・ビューによりファイルのプレビューが可能です。サムネールを表示するには、右パネルのファイル タブをクリックしタイトル・バーから任意のサムネール・サイズを選択します。

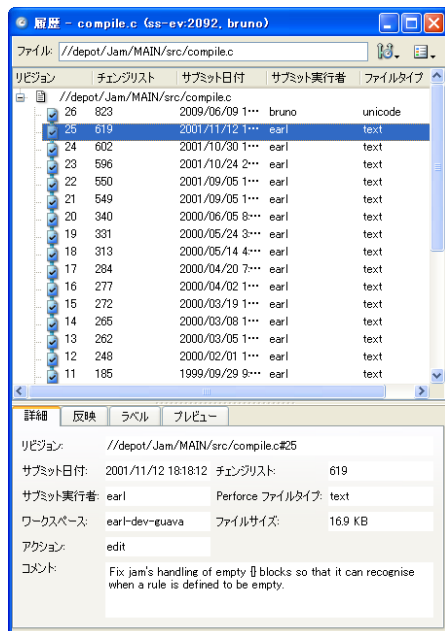


すると次の図のようにサムネールが表示されます。



タブの分割

あるタブを表示したままにするために、そのタブを切り離すことができます。例えば、ファイルをコンテキスト・クリックして[ファイルの履歴]を選択し、[ウィンドウ]>[ウィンドウの分割]を選択します。すると次の図のように別のウィンドウが開きます。



切り離したウィンドウを元に戻したい場合、[ウィンドウ]>[ウィンドウを結合]を選択します。

プリファレンスの設定

P4V の設定を行うには、[編集]>[プリファレンス...]を選択します。するとタブのあるプリファレンスダイアログが表示されます。エディタタブでは、オペレーティング・システム固有の関連付けを無効にして、アプリケーションとファイルタイプを関連付けることができます。また差分タブとマージタブでは、P4V とバンドルされているツール以外のツールを使用したい場合、外部アプリケーションを定義することができます。

P4Win からの移行

P4Win から P4V に移行するユーザ向けに、移行期間に役立つように対応する処理の一覧を示します。.

P4Win のメニュー項目	メニュー	P4V のメニュー項目	メニュー	注
[ソースコントロールに追加]	[ファイル]	[追加目的でマーキング]	[アクション]	ワークスペース・ツリーにあるファイルにのみ適用される
[ファイル、フォルダまたはリビジョンに Diff2 を実行]	[ファイル]	[比較...]	[ツール]	
[クライアントのファイルとディポのファイルと比較]	[ファイル]	[比較...]	[ツール]	または、ファイルをコンテキスト・クリックして[所有リビジョンと比較]を選択

P4Win のメニュー項目	メニュー	P4V のメニュー項目	メニュー	注
[エクスプローラ]	[ファイル]	[エクスプローラで表示]	[ファイル]	
[ファイル仕様またはブランチ仕様を使用して反映]	[ファイル]	[反映 ...]	[アクション]	
[削除目的で作業状態にする]	[ファイル]	[削除目的でマーキング]	[アクション]	
[編集目的で作業状態にする]	[ファイル]	[チェックアウト]	[アクション]	
[プロパティ]	[ファイル]	[フォルダ内のファイル]	[表示]>	ファイルのプロパティはフォルダ・ビューの [ファイル] の下部にある [詳細] パネルに表示される
[クライアントから削除]	[ファイル]	[ワークスペースから削除]	[アクション]	
[リネーム]	[ファイル]	[リネーム / 移動]	[アクション]	
[リビジョン履歴 ...]	[ファイル]	[履歴]	[表示]>	または、ファイルをコンテキスト・クリックして [ファイル履歴] を選択
[ファイルを表示 ...]	[ファイル]	[開く]	[ファイル]	または、ファイルをコンテキスト・クリックして [開く] を選択
[整合性のチェック]	[ファイル]>[その他]	[非接続の作業を照合する ...]	[アクション]	ワークスペース・ツリーにあるファイルにのみ適用される
[自動衝突解決]	[ファイル]>[衝突解決]	[衝突解決 ...]	[アクション]	
[対話式衝突解決]	[ファイル]>[衝突解決]>	[衝突解決 ...]	[アクション]	
[ファイルの衝突解決をスケジュール]	[ファイル]>[衝突解決]>	[最新リビジョンを取得]	[アクション]	
[最新リビジョンに同期]	[ファイル]>[同期]	[最新リビジョンを取得]	[アクション]	
[同期 ...]	[ファイル]>[同期]	[リビジョンを取得]	[アクション]	
[ファイルをパターン検索 ...]	[編集]	[ファイルを検索 ...]	[編集]	
[ファイルを選択されたフォルダ下で検索 ...]	[編集]>	[ファイルを検索 ...]	[編集]	

P4Win のメニュー項目	メニュー	P4V のメニュー項目	メニュー	注
[ブックマーク]	[表示]	[ブックマーク]	[ツール]	
[ディポのクライアント・ビュー]	[表示]	[ディポ・ツリー]	[表示]	クライアント・ビューを制限するには、[表示]>[ディポをフィルタリング]>[ワークスペース・ビューに制限されているツリー]を選択
[クライアント仕様]	[表示]	[ワークスペース]	[表示]	
[ディポの全体]	[表示]	[ディポ・ツリー]	[表示]	ディポ全体を表示するには、[表示]>[ディポをフィルタリング]>[ディポ全体のツリー]を選択
[クライアント・ツリーのローカル・ビュー]	[表示]	[ワークスペース・ツリー]	[表示]	
[削除されたディポ・ファイルを表示]	[表示]	[削除されたディポ・ファイルを表示]	[表示]>[ディポをフィルタリング]	
[お気に入りの接続]	[設定]	[お気に入りの接続]	[接続]	
[ログアウト]	[設定]	[ログオフ]	[接続]	
[オプション ...]	[設定]	[プリファレンス ...]	[編集]	
[ポート / クライアント / ユーザの履歴]	[設定]	[最近の接続をオープン]	[接続]	
[ポート / クライアント / ユーザの切り替え ...]	[設定]	[接続をオープン ...]	[接続]	
[パスワードを設定 (現在のユーザ)...]	[ユーザ]	[パスワードを変更 ...]	[接続]	

基本をマスターしたら

このガイドでは、P4V を使用してファイルの操作を開始する方法と、重要な基本機能について説明していますが、P4V には、その他にも多彩な機能があります。例えば、ジョブの作成、ファイル・グループのブランチ作成、チーム開発環境で生じる衝突の解決などです。

PERFORCE 管理者は、[**ツール**] > [**管理**] を選択して管理上の操作を実行することができます。管理ツールの使用により管理者は、ユーザとグループを管理し、それらについてディポ内のファイルおよびフォルダへのアクセス権を管理することができます。管理機能のうちいくつかは PERFORCE コマンドライン・クライアント (p4) を使用して実行しなければなりません。詳細については、『*PERFORCE コマンド・リファレンス*』および『*システム管理者ガイド*』を参照してください。

P4V のエキスパートになるには：

- ・ オンライン・ヘルプ、および PERFORCE のウェブ・サイトから入手可能な PERFORCE ユーザ向けドキュメントを参照する
- ・ ツールチップを利用する
- ・ 左パネルにあるファイルのアイコンやマークに注意する。アイコンやマークでファイルの状態やタイプについて多くの情報が表示されています。
- ・ ログ・パネルの記述を確認する
- ・ ドラッグ & ドロップ機能を習得して、大量のファイルを簡単に操作できるようにする。詳しくは、P4V ショートカットに関するヘルプ・トピックをお読みください。
- ・ P4V のビュー機能やフィルタ機能を使用して、選択的に情報を表示する

これらの概要については、P4V オンライン・ヘルプ、『*PERFORCE ユーザーズ・ガイド*』および『*PERFORCE システム管理者ガイド*』を参照してください。PERFORCE の Web サイトから入手できるこれらのマニュアルには、PERFORCE サーバのすべての機能に関する説明が記載されています。また、PERFORCE テクニカル・サポートにお問い合わせ頂くことも可能です。PERFORCE ユーザのメーリング・リスト、perforce-users でも活発に意見交換が行われています。詳細については弊社 Web サイトをご覧ください。

